

石巻圏域の具体的な取組イメージ（1）

施策1 戰略的な観光地域づくり

現状・課題

- 管内の宿泊施設では、ビジネス目的で利用する宿泊客が多いことから、観光再訪を促進するため、観光施設と提携した観光プランの造成や割引等の特典提供など、**満足度を高めるコンテンツづくりが必要**である。
- 温泉宿やリゾート型の宿泊施設が少なく、日帰り・通過型の観光客が多いため、石巻圏域内の市町や他の圏域との連携を強め、**複数の観光施設等を周遊する観光ルートや地域資源を活かした体験型プログラム等の造成が必要**である。
- 牡鹿半島や金華山などの自然景観や石ノ森萬画館などの文化施設、豊富な海産物や工芸品など、多様な観光資源を有するが、観光地としての魅力を引き上げるために十分に活用できていないため、**観光客の滞在価値を高める更なる磨き上げが必要**である。
- 観光産業の収益力を向上させるため、食事や土産品の購入など、観光客の滞在中における消費行動を喚起する**「石巻圏域ならでは」の特別感や満足感を与えられる高付加価値サービスの充実を図る必要**がある。

充実させたいコンテンツ例



宮城オルレ利用者の宿泊誘導



地域資源の海外発信



スポーツ合宿や全国練習会等の誘致



先進地域等のアドバイザーによる助言等



観光資源活用を活かしたインバウンド誘致



マリンスポーツ等の体験コンテンツ開発・商品造成



農業や漁業等の体験と食を組み合わせたツアー造成



一次産業との連携

石巻圏域の具体的な取組イメージ（2）

施策2 周遊性向上のための二次交通対策

現状・課題

○二次交通の利便性が低く、観光施設間の移動が不便であることから、管内を周遊する乗り合いタクシーや、レンタサイクルなどの交通手段の確保や旅行者に対する情報提供の強化が課題である。

移動手段の充実に向けた取組例



観光客向け交通手段・周辺案内サポート



二次交通に係る実証実験の実施



レンタサイクルや電動キックボード等の個人客向け移動手段の整備



多くの人が集まる松島・塩竈等からの移動手段の確保



地域内を巡る定期循環バスの運行



仙台空港からの直行便による誘客強化



EV充電設備の設置等に対する補助



地域資源を活かした交通体験